

# 令和3年度 決算特別委員会

## 一般会計

### 歳入

**問** 歳入・歳出ともに前年に比べ7%程度減となった。なぜ町は率先して事業に手を出さなかったのか。

**答** 全体の事業が落ち着いて来たので、内容を見極めながら事業を行い、メリハリをつけた決算となった。

### 歳出

#### ■総務費

**問** マイナンバーカードの普及率は。

**答** 令和4年7月現在、43.38%になっている。

#### ■民生費

**問** 結婚活動支援事業の内容は。

**答** 結婚活動魅力アップセミナー、参加者などへの支援事業となっている。



▲令和3年8月にセミナーを実施

**問** 会計年度任用職員は何人か、又、業務内容は。

**答** 任用職員は、2〜3名である。業務は、総務、教育、町民税務を行っている。

#### ■衛生費

**問** 原発事故に対する放射能測定経費等を東京電力に損害賠償を求めているのか。又、国からの助成金が出ているのか。

**答** 放射線量測定業務については実績報告を出して補助金の交付を受けている。又、放射線測定器具の校正（注）費用も国から助成金を受けている。

#### ■農林水産費

**問** 畜産農家に対する支援の内容は。

**答** 採草地を含む畑の面積を基準にし、10アールあたり1000円を助成している。

#### （注）校正

計器類の狂い、精度を標準器と比べ直すこと。

## 特別会計

### ■簡易水道

**問** 断水事故は何件発生しているのか。

**答** 令和3年度は地震などで6件の事故が発生している。

### ■町営バス

**問** 以前から町営バスの小型化を求めているが、その後の計画は。

**答** 年度末までには台数や大きさを示したい。



▲町営バス

## 総括質疑

**問** 人口減少の中で高齢者や障害者あるいは児童を含め、福祉政策を充実させるべきでなかったか。

**答** 本町で生きがいを持てる環境を各地域と共同で構築して行きたい。病院バス運行などについては令和5年度中に考えをまとめていきたい。

**問** コロナ禍の影響により農業や商工費等の歳出は消極的な部分も感じられるが、前年と同程度の積極的な財政運営による事業が出来なかったのか。

**答** 単年度で取り組む事業と準備を要する事業等もあり、今後の財政運営は歳入・歳出ともに24億円規模で想定している。



▲決算特別委員会

### 決算特別委員会現場調査



▲町民グラウンド老朽化施設改修工事



▲除雪ドーザ購入事業